

はうぼうと球磨

No. 83

平成28年5月

火災・救急・救助は**119**ばん

携帯電話からも、局番なしの**119**ばん

※休日当番医の問い合わせは、**42-3181**番へ！

災害の問い合わせは、**42-3000**番へ！



総務課 **42-3191** ・ 予防課 **42-3184**
 通信課 **42-3181** ・ 消防課 **42-3189**
 企画課 **42-3183**



◆ 発 行 ◆

上球磨消防組合

代 表 TEL 42-3181
 東分署 TEL 47-8119

<http://www.kmkm119.jp>



多良木8区1（東地区）の夜警の取り組み（詳細は6ページ）



平成28年度 全国統一防火標語
「消しましょう その火その時 その場所で」

目次

- 財政事情の公表
- 新消防長挨拶
- 消防救急デジタル無線完成！
- 65年間続いています！

財政事情の公表

■上球磨消防組合告示第1号

地方自治法第243条の3第1項および上球磨消防組合財政事情の公表に関する条例の規定により、財政事情を次のとおり公表する。

平成28年1月4日

上球磨消防組合 組合長 松本 照彦

1. 平成26年度歳入歳出状況

(1) 歳入

(単位：千円)

款別	予算額 (A)	補正額等 (B)	収入済額 (C)					差引残高 (A)+(B)-(C)	収入率 (%)
			4～6月	7～9月	10～12月	1～5月	計		
1 分担金及び負担金	501,783	△4,894	244,340	127,486	124,863	265	496,954	△65	100.0%
2 使用料及び手数料	300	0	34	95	68	19	216	84	72.0%
3 国庫支出金	1	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
4 県支出金	140	△99	0	0	0	104	104	△63	253.7%
5 財産収入	20	0	0	0	0	21	21	△1	105.0%
6 寄附金	1	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
7 繰入金	1	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
8 繰越金	3,000	10,000	3,000	0	0	10,000	13,000	0	100.0%
9 諸収入	5,354	99	11	9	8	5,475	5,503	△50	100.9%
10 組合債	539,400	△139,700	0	0	0	0	0	399,700	0.0%
歳入合計	1,050,000	△134,594	247,385	127,590	124,939	15,884	515,798	399,608	56.3%

(2) 歳出

(単位：千円)

款別	予算額 (A)	補正額等 (B)	支出済額 (B)					差引残高 (A)+(B)-(C)	支出率 (%)
			4～6月	7～9月	10～12月	1～5月	計		
1 議会費	782		10	21	30	382	443	339	56.6%
2 総務費	37,266		6,649	11,217	5,951	8,539	32,356	4,910	86.8%
3 消防費	990,628	△134,594	121,192	93,557	131,128	101,158	447,035	408,999	52.2%
4 公債費	19,865		0	9,954	0	9,910	19,864	1	100.0%
5 諸支出金	1		0	0	0	0	0	1	0.0%
6 予備費	1,458		0	0	0	0	0	1,458	0.0%
歳出合計	1,050,000	△134,594	127,851	114,749	137,109	119,989	499,698	415,708	54.6%

2. 組合の財産

種類	数	量
土地	上球磨消防本部消防署 4,717.00㎡	東分署 1,698.00㎡ 江代基地局 88.00㎡
建物	庁舎 999.29㎡ 車庫及び資料室 357.93㎡	倉庫 54.79㎡ 東分署 251.24㎡
車両	指揮車、ポンプ1号車、ポンプ2号車、救助工作車、救急1号車、救急2号車、救急3号車、マイクロバス、資機材搬送車、事務連絡車、広報1、広報2、事務車、ポンプ3号車、東ポンプ車、東救急車	

3. 平成27年度予算執行状況

平成27年4月～9月

(1) 歳入

(単位：千円)

款別	予算額 (A)	補正額等 (B)	収入済額 (C)			差引残高 (A)+(B)-(C)	収入率 (%)
			4～6月	7～9月	計		
1 分担金及び負担金	473,175	△4,992	232,277	117,450	349,727	118,456	74.7%
2 使用料及び手数料	150	0	87	100	187	△37	124.7%
3 国庫支出金	1	0	0	0	0	1	0.0%
4 県支出金	41	0	0	0	0	41	0.0%
5 財産収入	22	0	0	0	0	22	0.0%
6 寄附金	1	0	0	0	0	1	0.0%
7 繰入金	1	0	0	0	0	1	0.0%
8 繰越金	3,000	5,108	3,116	0	3,116	4,992	38.4%
9 諸収入	5,608	0	0	8	8	5,600	0.1%
10 組合債	1	399,700	0	0	0	399,701	0.0%
歳入合計	482,000	399,816	235,480	117,558	353,038	528,778	40.0%

(2) 歳出

(単位：千円)

款別	予算額 (A)	補正額等 (B)	支出済額 (B)			差引残高 (A)+(B)-(C)	支出率 (%)
			4～6月	7～9月	計		
1 議会費	852	0	35	0	35	817	4.1%
2 総務費	29,867	0	5,248	5,689	10,937	18,930	36.6%
3 消防費	437,365	399,816	117,530	84,958	202,488	634,693	24.2%
4 公債費	12,532	0	0	5,550	5,550	6,982	44.3%
5 諸支出金	1	0	0	0	0	1	0.0%
6 予備費	1,383	0	0	0	0	1,383	0.0%
歳出合計	482,000	399,816	122,813	96,197	219,010	662,806	24.8%

火災・救急・救助は



就任のご挨拶

消防長 吉鶴 和幸

この度、4月1日付けをもちまして上球磨消防組合消防長を拝命いたしました。上球磨地域の皆様の生命・身体・財産を火災などの災害から守るという重責に身の引締まる思いです。

消防組合発足43年目を迎え、職員の増員、消防車両、資機材の配備、東分署建設など、組織体制の充実強化を図り管内住民の皆様の負託に応えられるよう発展してまいりました。

昨年12月には、消防・救急デジタル無線の運用を開始しました。今後は、火災、救急、救助をはじめ複雑多様化する消防需要に対して、消防・救急デジタル無線を有効に活用し消防活動を行っていききたいと思っています。

近年、東日本大震災をはじめ、

全国各地で大規模災害が発生しています。熊本県でも、今年4月に発生した「平成28年熊本地震」では、県内の広い範囲で家屋の倒壊、土砂崩れ等により多数の死傷者を出す未曾有の大災害となりました。上球磨管内でも震度5弱を過ぎり町で観測しましたが、幸いにも大規模な災害は発生しませんでした。いつ起きるかわからない災害に備え、今後も訓練、研修を行い、迅速で的確な消防活動を心掛けたいと思います。

最後に、管内の皆様が「安心・安全」な生活を送っていただくために職員一丸となり、誠心誠意努力する所存です。皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とします。

上球磨消防団連合会放水競技大会

平成28年1月11日に、平成27年度上球磨消防団連合会放水競技大会が多良木町多目的総合グラウンドにて開催されました。

本大会は消防団員の団結及び士気の高揚を図り、上球磨地区消防団の連携と協調の充実化を目的に実施されているものです。

小型ポンプの部に8チーム、ポンプ車の部に3チームの計11チームが出場しました。

成績は以下の通りでした。

- | | | |
|----------|----|-------------|
| ○小型ポンプの部 | 1位 | 湯前町（4分団1部） |
| | 2位 | 多良木町（4分団1部） |
| | 3位 | 湯前町（2分団4部） |
| ○ポンプ車の部 | 1位 | 水上村（1分団4部） |

※選手及び関係者の皆さんお疲れさまでした。



あなたの家の消火器！大丈夫？

消火器には使用期限があることをご存知でしょうか？

使用期限を過ぎたものをそのままにしておくと、いざという時に使用できないだけでなく、容器の腐食が進み、破裂による重大な事故につながる恐れがあります。

そのような事故を防ぐためにも定期的な点検が必要となります。また、使用期限が過ぎていなくてもキズやサビ等があるものは交換をお願いします。

※ 当消防本部では訪問販売は行っておりません。また消火器の回収も行っておりませんので処分される際は取り扱いのメーカーに問い合わせをお願いします。



消防署からのお願い！

平成27年10月1日に「統合型位置情報システム」を導入しました。

このシステムは、119番通報した場合（固定電話）瞬時に現場（住宅）が地図上に映し出され、出勤までの時間短縮になります。しかし、指令台の位置情報システムに登録された情報と、NTT電話帳の情報が合致しないと地図上に反映されません。そのため消防署では、合致しない住所については住民の方に内容を説明し、正確な住所をお尋ねする場合があります。

現場へ1秒でも早く到着できるようにご協力をお願いします。



【江代基地局】



【槻木基地局】

「消防救急デジタル無線の概要」
消防救急無線活動の高度化及び電波の有効利用の観点から平成20年（総務省告示第291号）アナログ方式の使用期限が、平成28年5月31日までと規定され、デジタル方式へ移行することになりました。
それに伴い、当本部でも平成26年11月に着工し、平成27年12月25日に完成しました。
無線基地局は、消防本部、水上村江代、多良木町槻木の3ヶ所があります。デジタル無線を導入したことで、旧アナログ無線に比べ格段に交信エリアが拡大しました。
消防救急活動において無線通信網は必要不可欠なものです。無線のデジタル化により、チャンネルの柔軟な運用や通信の秘匿性の向上、さらには大規模災害時における指令系統の対応能力向上など、本システムを最大限に活用し、住民の皆様の安全・安心を確保するために努めてまいります。

消防救急デジタル無線完成



多良木小学校6年生：人工呼吸の様子

子ども救命士が誕生!!

平成28年1月20日、多良木小学校では2回目となる小学生を対象とした救急講習（子ども救命士）が開催されました。講習では、防災マップを使っ

て周囲にある危険箇所を調べ、119番通報の仕方や心肺蘇生法の体験をしました。児童の中には、将来消防士を目指す児童もあり、とても熱心で積極的に取り組んでくれました。

講習が修了した児童には、子ども救命士認定バッジが贈られます。平成26年に開設された子ども救命士も、約2年が経ち、184名が誕生しています。講習の目的である小学生の頃から、命の大切さ、防災への関心を高め、救命率向上に繋がることを願っています。

消防訓練出向中!

毎月上球磨消防署管内では、様々な事業所で消防訓練が実施されています。

建物からの避難訓練や実際の119番への通報訓練、水消火器を使つての消火訓練、発見から避難までを一貫して行う総合訓練が行われています。

今回、多良木町立第三保育所で行われた消防訓練では、避難訓練に加えて煙体験を実施しました。



煙体験は、一室に疑似煙を充満させて行います。この訓練では、火災時に発生した煙による視界状況の悪化を体験でき、またこのような場面に遭遇した際の避難方法を学べます。園児たちは、最初は煙に驚きながらも真剣に取り組んでいました。火災で発生する煙には、一酸化



炭素などの有毒なガスが含まれ、吸い込むと頭痛、めまい、吐き気、意識消失などが起こります。また高温となった煙を吸い込んでしまうと喉や肺に火傷を負って呼吸困難となる可能性があり、非常に危険です。煙は下の方が薄く、視界も広くなります。避難する際は、姿勢を低くし口鼻をハンカチやタオルなどで覆い、外へ素早く避難してください。

子ども消防団！ 出動！



平成27年12月29日、消防団年末警戒に水上村宮田地区くまがわ子ども会が参加し、消防団員と宮田地区界隈を回りました。

参加した10名の子どもたちは、法被と拍子木を身に着け、「火の用心！カチッ、カチッ！」と元気なかけ声で巡回していました。

この取り組みは、子どもたちの防火意識の向上を目的に今回初めて実施され、これからも継続されていくそうです。

春の火災予防週間防火マラソン

3月2日に「春の全国火災予防週間」（1日～7日）に合わせた防火マラソンを実施しました。

水上村役場をスタートし上球磨消防署までの約11kmを走りながら「火の用心お願いします」と道行く人に声をかけながら住民の方々に火災予防の啓発を行いました。

他の取り組みとして消防車両と防災無線による防火広報を実施しました。



一口に65年と言いますが、なかなか続くものではないかもしれません。これからも拍子木の音にのり響け「火の用心！」



溝辺武雄さん、お孫さんと



これが拍子木です

素晴らしい取り組みですね。

昔の家は木造で障子が多く、テレビもなかったので『拍子木』の音が響き良く聞こえていました。今の家は気密性が高く、また、テレビの音で聞こえにくくなりましたね。

名称も『東地区火災予防自警団』となり、平成16年7月には『消防庁長官表彰』を受けました。

振り返れば、住民一人ひとりが意識を高め65年余りよく絶やさず続けてきたと思います。東地区18軒が『一致団結』し理解があつてこそこの取り組みだと思っています。これからも、東地区から火災を出さず、永く続いてくればと願っています。

多良木町大字多良木8区1（東地区）は毎晩「夜警」をされているそうです。その取り組みについてご紹介します。由来について同地区の尾方一夫さん（80）にお話を聞きました。

▼始まったきっかけはなんですか？

「あれは昭和25年頃だったと思います。同地区で住宅火災が起きました。それで、東地区から火災を出さないようにと、みんなで話し合い『拍子木を鳴らし（火の用心）夜警をしてはどうか』という事になりました。それからが始まりだと思います。

東地区は18軒あり一週間交代で持ち回り、夜8時頃から夜警をしています。

65年間続いています！